



もみじ新聞



7月

施設長挨拶

梅雨明けが待ち遠しいですが、3日は熊本県で線状降水帯による非常に激しい雨が続き、土砂災害で寺の本堂が押しつぶされ、川の氾濫で住宅地や道路の冠水などが相次ぎ「令和2年の7月豪雨」の大規模災害の記憶がよみがえります。宮崎市でも同日は大雨警戒レベル3が発表され、夕方前には土砂災害警戒のため高齢者等避難指示(2,465世帯 6,108人)も発表されました。「非常に激しい雨」とは1時間雨量が50ミリ以上～80ミリ未満の雨を表しているそうです。また、「滝のように降る雨」「ゴーゴーと降り続く」「傘は全く役に立たないレベル」などとも表現されているようです。確かに3日の9時ごろ小雨で傘をさして歩いていると、急に雨足が強まったと思えば滝のような雨になり、あっという間にスラックスの膝から下がずぶ濡れになりました。まさに、「まったく傘が役に立たない」を経験したところです。

さて、梅雨時期ではありますが、施設では前号で記載いたしました外出行事を実施しており、外気浴など楽しめました。また、7日は七夕といったこともありユニットごとに七夕が飾られています。短冊には、ご家族様に書いていただいたものもあるようでした。それでは、7月号をご覧ください。



6月2日に散髪が行われました！鏡を見て、すっきりされた姿に笑顔を見せてくださりました。



豆乳はお体に良いと、日頃飲まれています。暑い夏を乗り切りましょう。



ホールに、七夕の飾り付けをしました。それぞれの願いが叶うといいですね！

